

フィロス・コレクション ロートレック展 時をつかむ線

2024. 10.12[土] - 1.5[日]
札幌芸術の森美術館



〈エグランティーヌ嬢一座〉(部分) 1896年 リトグラフ
La Troupe de Mademoiselle Églantine, 1896, Lithograph, Courtesy "The Firos Collection"

大衆文化が爛熟した 19 世紀末パリ。ベル・エポックとよばれるこの時代に活躍した画家アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック (1864-1901) は、歓楽街モンマルトルにアトリエを構え、そこに生きる歌手や芸人たちを描きました。

本展は、ロートレックのグラフィック作品の個人コレクションとしては世界最大級のフィロス・コレクションで構成されます。コレクション最大の特徴である素描作品を核に、ポスター、版画、さらにロートレックの手紙や写真など作家の内面に迫る作品と資料約 260 点を展観します。「1 点もの」の素描は日本初公開となるほか、ポスターの下絵などロートレックの制作過程を伝える資料もご覧いただけます。時をこえて、ロートレックが生きた 19 世紀末パリの活況をお楽しみください。

時間：午前 9 時 45 分 - 午後 5 時 (入館は閉館の 30 分前まで)

休館日：11 月以降の月曜日 (祝日の場合翌平日)、年末年始 (12/29-1/2) *2025/1/3 は開館

観覧料：一般 1,500 (1,400) 円、高校・大学生 1,200 (1,100) 円、小・中学生 900 (800) 円

* () 内は前売または 20 名以上の団体料金 * 小学生未満無料

* 65 歳以上の方は当日料金が 1,400 (団体 1,300) 円 年齢の分かるものをご提示ください。

* 障がい者手帳をお持ちの方は、当日窓口でご提示いただくと、ご本人と付き添いの方 1 名が無料。

主催：札幌芸術の森美術館 (札幌市芸術文化財団)、札幌テレビ放送、北海道新聞社

協力：NX 日本通運、日本貨物航空 特別協力：STV ラジオ 後援：札幌市、札幌市教育委員会

企画協力：日テレイベント、日本テレビサービス 全国協賛：光村印刷 札幌展協賛：TNOc hokkaido

砂澤ビッキアーカイブ 経過報告展

札幌芸術の森美術館 B 展示室

2024年10月12日(土) - 2025年1月5日(日)



砂澤ビッキ《樹面 4-1》1975年
札幌芸術の森美術館蔵（撮影：笠井義郎）



砂澤ビッキ《午前3時の玩具》1987年
札幌芸術の森美術館蔵（撮影：佐藤雅英）



砂澤ビッキ《午前3時の玩具》1987年
札幌芸術の森美術館蔵（撮影：佐藤雅英）

砂澤ビッキ（1931-1989）は、旭川に生まれ、独学で彫刻や絵画を学び、阿寒湖畔や鎌倉、札幌で活動しました。1978年からは音威子府の旧小学校をアトリエ兼住居とし、《四つの風》（1986年、札幌芸術の森野外美術館設置）に代表される神秘的でダイナミックな木彫作品を制作しました。

本展では、札幌芸術の森美術館で2018年から継続している調査研究活動「砂澤ビッキアーカイブ」の最新情報を、素描や彫刻の小品をまじえながら紹介します。

開館時間：9時45分 - 17時（入館は16時30分まで）

休館日：11月以降の月曜日（祝日の場合は翌平日）、12/7(土)、12/8(日)、
年末年始（12/29-1/2）

観覧料：無料

主催：札幌芸術の森美術館（札幌市芸術文化財団）